

有限会社 日高印刷所

〒809-0034 福岡県中間市中間1-4-16
TEL 093-245-0214 HP <https://www.hidaka-print.com/>

業 種 印刷業
従業員数 10名
資 本 金 1,000万円

事業内容

創業108年の経験と技術をもとにお客様の思いを形に

1913年に炭鉱専属印刷業者として創業し、100年を超える歴史を誇る。伝票や封筒、名刺等一般帳票印刷から始まり、現在は地元の間中市、遠賀郡、北九州市の官公庁、企業や病院、地域団体、個人など幅広いお客様に向け、冊子やチラシ、ポスターを制作している。丁寧なヒアリングをもとに、企画からデザイン、印刷まで一貫して自社で生産。2021年9月より建築業界に特化したネット印刷通販サイトを立ち上げた。



改善成果のポイント

訪問支援回数 | 10回 (支援期間: 12カ月)

- 経年印刷機の予防保全技術をスタッフが習得し、稼働率向上
- 無線綴じ機を導入し、製本の生産能力を向上、外注委託を低減



Q どんな困りごと(課題)がありましたか？

地元密着のスタイルで長年営業してきて、社内原価については大まかに掴んでいるものの、現場の作業時間や機械時間の定量分析と改善までには至っていませんでした。以前から生産性を向上したいと考えていましたが、どのようにしたらいいか頭を悩ませつつも、日々の仕事に追われてそのままになっていました。

例えば、印刷工程は大量印刷向きの4色刷り機と、少量向きのオンデマンド印刷機の2台体制で印刷を行っています。4色刷り機は高性能ですが一方でオペレーションにコツが必要で、熟練オペレーターの退職時、経験の浅いオペレーターにある程度は引継いでもらいましたが、それでも扱いが分からず、機械が止まってしまうことが多く、ついつい、オンデマンド機に頼っていました。

また、製本工程は生産が追い付かないことが多く、一部を外注しており、採算性を悪化させていました。

課題 ② ③



作業の待機によってものが山積み



製本に使う綴じ機の処理能力が低かった

Q 改善の取組み内容を教えてください

まず、現状把握として日報から4色刷り機の稼働状況を確認すると、度重なる停止による非稼働時間が約10%もあることが判りました。生産を優先し、メーカー定期点検があまりできていなかったのですが、安定稼働のために年2回定期点検をするようにアドバイスをもらい更に経験の浅いオペレーターが点検に立ち会い、機械動作の知識を得るようにしました。

直近のデータから受注状況や売上げ、外注比率、製造原価を出し、現在の収支状況を確認しました。また、印刷・製本工程のそれぞれの作業時間や生産能力を分析したところ、製本工程の綴じ作業に時間がかかっていることで外注依存が高まっていることが分かり、前段取りがほぼ不要な無線綴じ機を新たに導入することにしました。

そのほか、工場内のレイアウトを物の流れと人の動きを中心に変更し、効率よく動けるようにしました。



前段取りがほぼ不要な無線綴じ機を導入



作業動線に合わせた配置にして効率を向上

Q 取組んで良くなった点を教えてください

メインの 効果 (改善点)

4色刷り機の定期点検を実施するようになったことと、機械の特性に合った清掃、点検、操作により稼働が安定し、約10%あった停止時間がほぼ0%になり、1日に印刷できる枚数が2.5倍以上に増えました。

また、それでも機械のトラブルが起きた場合は、オペレーターがトラブルノートに状況と対処法を書き留めておき、トラブル時に迅速に対応するとともに、そのノウハウを貯めています。

新しい無線綴じ機の導入により、処理能力が3~5倍アップし、外注への依存が減り収益が大きく改善しました。

社内コスト管理が進んだだけでなく、お客様に対しても製造原価をもとに適正な価格で見積・請求をできるようになりました。



機械のトラブルをノートに書き留めている

副次効果

これまではお客様に合わせて少しでも早く納品するために残業することもあったのですが、今は期日を守りながらも自社のペースで計画を立てて効率よく生産を進め、極力残業をしない働き方にシフトしています。

今後の目標

新型コロナウイルス影響下、今回の支援によって、自社のあり方を見直し将来の展開まで考えるようになりました。

オンデマンド印刷機をもう1台導入してウェブを活用した半自動化の製造システムを構築中でネットビジネスのサポートなども始めました。



オンデマンド印刷機を2台体制にした

企業様の声

お客様との交渉や製造工程の管理など感覚で進めていた部分が多かったのですが、今回の支援で製造原価管理の基本的な考え方からしっかり学ばせていただきました。製造原価を意識し、4M管理の徹底などを実施することで機械のトラブルが減り安定稼働が実現し、新しい機械の導入で社内生産能力の向上を実現することができました。さらに効率化を進め、付加価値の高い仕事にもチャレンジしていきたいです。



有限会社 日高印刷所
代表取締役
日高 慶太郎 様

生産性アドバイザーから一言

日高印刷所様では現状を把握して製造原価を算出し、製造原価を意識した運営を進めるための課題を見つけて支援方策を実行していきました。日高社長が状況をしっかり理解されて、アフターコロナを見据えて自ら考え行動される姿勢が素晴らしいと思いました。

生産性アドバイザー
橋本 太

